



蔵王町文化財展⑭

どきたんと行く 蔵王の名所

ございんホール展示室
5.3(火)~5.31(火)



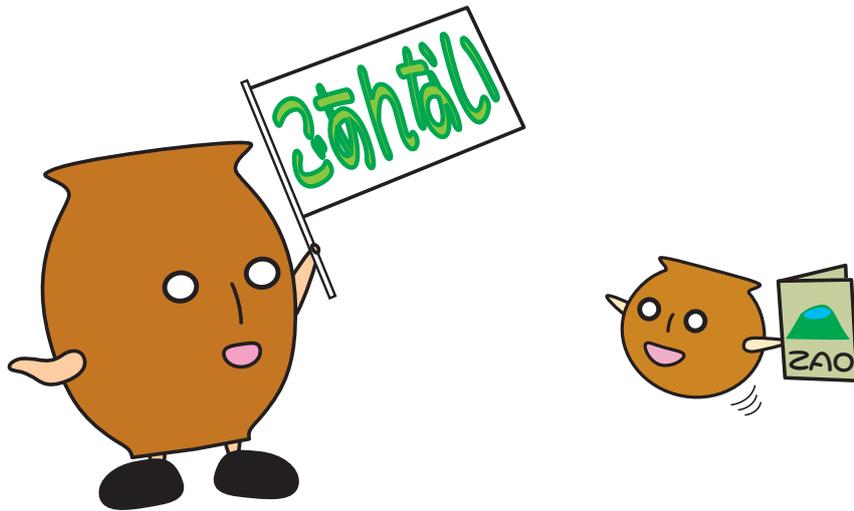
主催：蔵王町教育委員会 (TEL 0224-33-3008)

蔵王へようこそ！！

こんにちは。ボク、どきたん！

蔵王町には、とってもステキな観光名所がい〜〜っばいあるんだ。
いつもたくさんの人が来てくれてるんだよ！ ありがとうね〜！！

ボク、いつもは町のレキシを調べたり、みんなに伝えたりしてるんだけど、今回は町の名所めぐりのガイドをしちゃうんだ！ もちろん、ただのガイドじゃないよ。『ムカシたんけん』が大スキなボクならではの、スペシャルなガイドをやっちゃうよ！ みんなもボクといっしょに名所めぐりを楽しんでね！



この度の震災で被災された方々、痛ましくも犠牲になられた方々、そして、復興に向けて日々努力奮闘を重ねている方々に心よりお見舞い申し上げます。

今回、文化財展開催にあたり深く考えたことがあります。それは、今、蔵王町という地域が皆様に差し上げられることは何か？ 私ども町教育委員会文化財保護部局には何が出来るのか？ ということです。目を覆いたくなるほどの大きなダメージを負ってしまった地域も多い中、蔵王町は、幸いにも魅力あふれる美しい景観が保たれています。蔵王町を訪れた方々は、この景観に接して安らぎを感じ、浮き立つ気持ちを抱いていただけることでしょうか。それこそが、私どもの地域にできる最大のことと確信します。

この文化財展は、蔵王の観光をより楽しいものにするお手伝いとして用意いたしました。何気ないスポットに隠されたエピソードを、マスコットキャラクター『どきたん』が楽しくガイドします。今回の展示によって、蔵王の観光をよりいっそう楽しんでいただければ幸いです。

蔵王の名所マップ

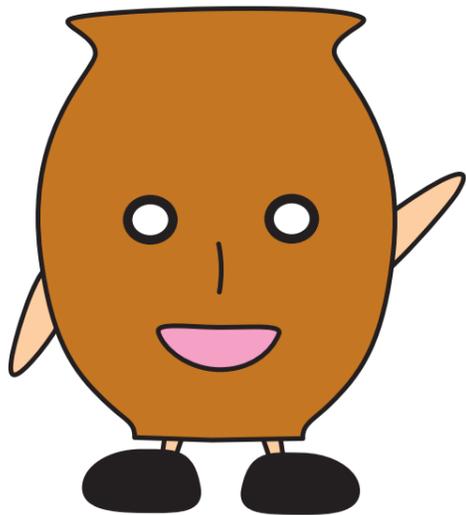
まずは、蔵王の『名所』がどこにあるか、そして蔵王町ってどんなトコロなのか、みんなに知ってもらいたいんだ！

蔵王町は宮城県南部・仙南地域にあるんだ。東西にヒョロっとした形をしてるよ。大きさは東西 23km、南北 12.6km。面積は 153.47 平方 km だ。蔵王連峰^{ひょうぶだけ}屏風岳の山頂 1,825m から宮^{みや}地区の 30m まで、標高差がおよそ 1,800m もあるんだ。大きく分けると西側が山岳地帯、東側が低湿地帯、まん中が丘陵地帯ってカンジかな。人口は 13,000 人くらい。少しずつ減ってるんだ。さびしいなあ…。そうそう！ 蔵王町は『農業と観光の町』なんだ。お米や野菜、果物、畜産物などをたくさん作ってるんだよ！中でも梨や卵、ツルムラサキは県内トップクラスの生産量！すごいね～！ …え？ 観光はどうなのって？ よ～し、これからごあんないするから、楽しみにね～！



蔵王町にはジマンがいっぱいあるんだ。ボクが選んだ『蔵王のジマン ベスト5！！』は、コレだよ！

- 第1位 『自然がいっぱい！景色がステキ！』
- 第2位 『春夏秋冬、ぜんぶの季節がキレイ！』
- 第3位 『おいしい食べ物がたくさんとれる』
- 第4位 『温泉でゆったりまったり(^_^)』
- 第5位 『レキシがいっぱい！ムカシたんけん楽しいよ！』

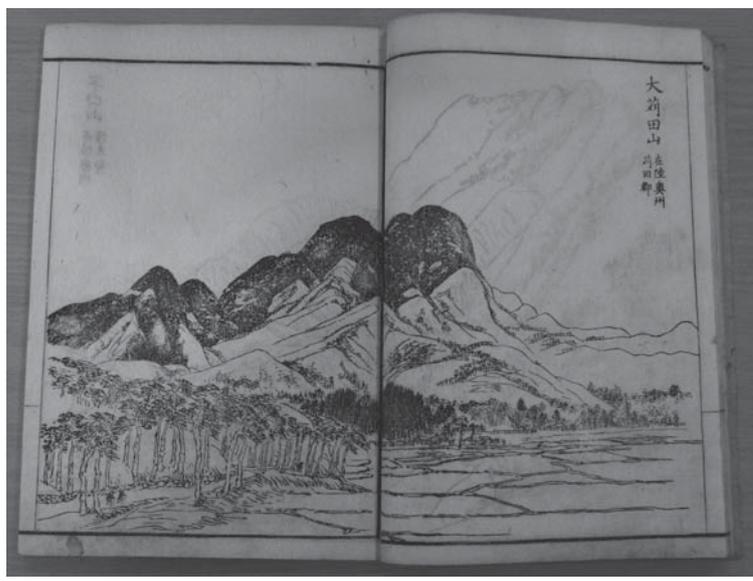


★ 今回ごあんないの『名所』
○ ランドマーク

ムカシムカシの名所案内①

お お か っ た や ま

大蒨田山 ~日本名山図会~



谷文晁の描いた『大蒨田山図』。形がエウク誇張されてるね。こうして見ると特徴があって、オモシロい山だね！

千ナミの青麻山は標高799.9m…。あと10センチくらい大目に見てもらえなかつたのかなあ？

蔵王町役場付近から見た青麻山の眺め。蔵王との対比がウツクシイ！ 谷文晁が描いた位置は、山をはさんで反対側に
なるね。ボクは、こっちの景色がお気に入り！



蔵王の名所案内の手始めに、ムカシムカシ、この地域の名所がどういうふうで紹介されてたかを見てみよう。

ふつうの人が観光旅行をするようになったのは、イマから300年くらいムカシ。江戸時代のことなんだ。当時の観光旅行は、有名なお寺や神社にお参りしたり、日本三景などの景勝地をめぐるたりするモノだったんだ。もちろん、行く先々、道すがらの名所や名物なんかも楽しんでたんだ。イマとあんまり変わんないね！

江戸時代には、画家や作家、歌人などの芸術家も、さかんに旅行したんだ。行った先々のことを記した紀行文や見聞録、画集なんかも出版されたんだよ。

ここに紹介するのは『日本名山図会』。谷文晁っていう画家が各地の名山90図を描いた画集だ。全3巻で出版は文化9(1812)年。その中に、『大蒨田山 在陸奥国蒨田郡』が収められてるんだ。大蒨田山ってのは青麻山のこと。図は白石方面、福岡あたりからの眺めだね。この位置から見た青麻山ってすごく特徴のあるカタチをしてるから、名山として描くのに申し分ないよね！

ムカシムカシの名所案内②

仙台藩内ガイドブックのルーツ

おううかんせきもんろうし
～奥羽観蹟聞老志～

『おううかんせきもんろうし奥羽観蹟聞老志』は、仙台藩主伊達綱村だてつなむらの命令で享保4(1719)年きょうほに作られた、藩内各郡のようすをまとめた地誌ちしだよ。観光や名所めぐりを目的に作られたモノじゃなく、仙台藩を治めるための資料集なんだ。でも、その内容がスゴイんだ！郡ごとの歴史や産物、神社仏閣、名所旧跡、風習のほか、ご当地の和歌なんかもまとめられてるんだ。まさに仙台藩公式ガイドブック！

この聞老志もんろうし、その後作られた文献ぶんげんには必ずといっていいほど引用されてるんだ。しかも、おカタイ文献だけじゃなく、明治～昭和初期の観光パンフレットにまで「聞老志にいわく、ウンヌンカンヌン…」って書かれてるんだよ。観光パンフレットやガイドブックのルーツ、元ネタってことだね！

ときたん豆知識

聞老志に書かれてる、蔵王町内の名所をピックアップしてみたよ！

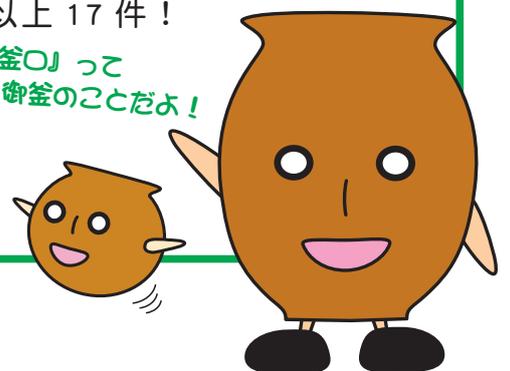
不忘山ふぼうさん（蔵王嶽だけ）・妖魅石おにいし・岩崎金窟きんくつ・湯刈田温泉とうがった・鳥居松とりいまつ・泰衡の城址やすひら・
根無藤ねなしふじ・元塚くびづか・一戦場いっせんば・四方坂古壘しほうざか・白崩叢祠しろくずぞうし・花楯城はなだてじょう・築館の城つきだて・
刈田神社 …以上14件！

…え？ 御釜とかはないのかって？ 蔵王山中の名所は、不忘山の中で説明されてるんだ。どんな名所があがってるかっていうと…

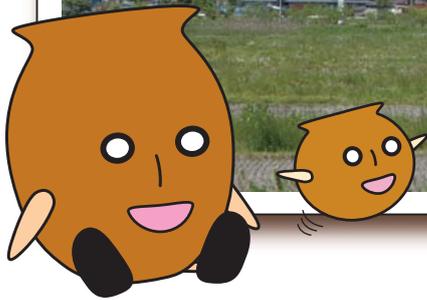
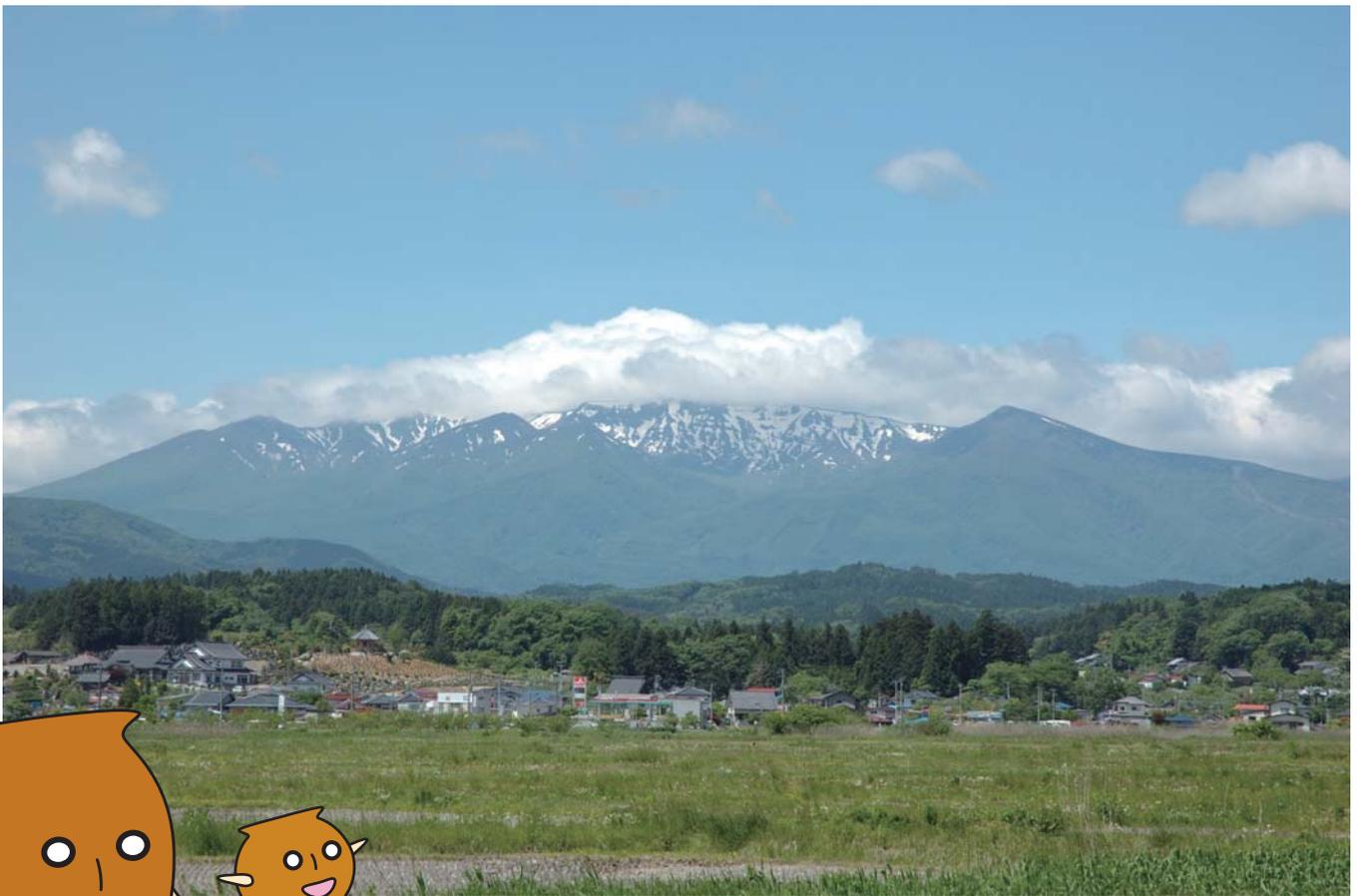
山上蔵王権現神祠ごんげんしんし・山下金峯山蔵王寺きんぷせん・烏帽子形えぼしなり（岳びょうぶだけ）・屏風嶽びょうぶだけ・熊野峯くまのね・
杉峯すぎがみね・箕輪みのわ・魔魂山まのたま・裁の河原さい・釜口かまのくち・灰塚さんず・三途さんず（川ちのいけ）・流血ちのいけ（血の池）・
伊達宗高の事績いちのとりい・萱峠い・一鳥井いちのとりい（鳥居松） …以上17件！

合計30件以上もの名所や事績が紹介されてるんだよ。この中のいくつかは、その後300年にわたって、蔵王の名所としてボクたちに親しまれてるんだ！

「釜口」って
御釜のことだよ！



蔵王に登ろう！！



平沢地区・円田盆地からみた蔵王の山なみ。キレイでしょ！

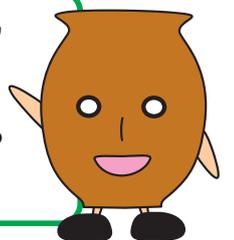
いよいよ名所めぐりははじめるよ。まずは蔵王のてっぺんをめざそう！

ふつう、山登りって歩きだよな？ 蔵王には『蔵王エコライン』が通ってるから自動車で登れるんだよ！ ここで暮らしていると当たり前を感じるけど、標高 1,800m の山のてっぺんまで自動車で行けるなんて、全国的にも珍しいことなんだよ！

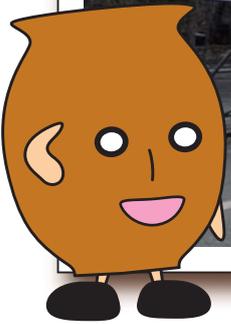
そうそう、蔵王町は昭和 30(1955)年に誕生したんだけど、その名前は蔵王の山からいただいたものなんだ。ボク、蔵王町って名前、大スキ！ だって日本はもちろん外国でも「Mt.ZAO は日本を代表する山」って有名なんだよ！ 世界に誇る山の名前をいただく蔵王町。すごいよね～。ボクたちも、蔵王の名前に恥ずかしくないようにガンバラなきゃね！

ときたん豆知識

町内には、蔵王を眺めるのにサイコーなスポットがいくつもあるんだ！ 仙南各地のナイス蔵王スポットを集めた『宮城蔵王三十六景』っていう取り組みもあるんだよ！



おっきな鳥居だよ！



大鳥居さしに見ると、蔵王の雄大さがひきたつね！

この鳥居は『エコーラインの大鳥居』って呼ばれてるんだ。地元の人々の働きかけで昭和44(1969)年に建てられたんだよ。高さは13.48mだ。

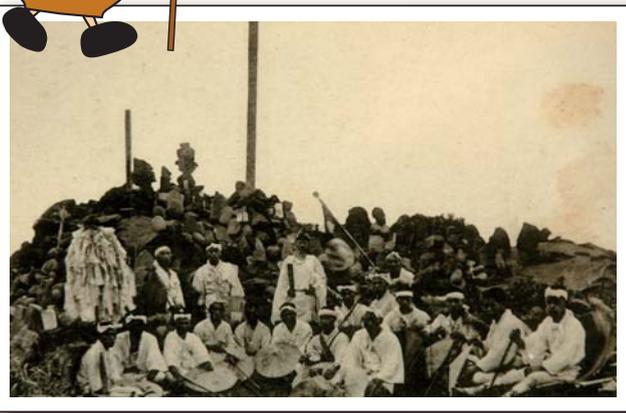
鳥居って、「ここより先は神様がいらっしゃる神聖な場所ですよ！」ってことを表すために、参道の入り口に建てられるものだよ。それがどうして山の入り口に？ フシギだよねえ？ じつは、蔵王の頂上には『蔵王刈田嶺神社』かつたみねじんじゃっていう神社があるんだ。エコーラインの大鳥居はこの神社の鳥居なんだよ。ということはつまり、エコーラインの大鳥居は、「ここから先、頂上まで続く道は、蔵王刈田嶺神社の参道にあたる神聖な道ですよ！」ってことを表してるんだよ！

ところでこの大鳥居、本当の名前は『蔵王大権現大鳥居』ごんげんっていうんだ。これは、蔵王刈田嶺神社が、江戸時代までは『蔵王大権現社』というお社だったからなんだ。鳥居を建てる時、昔ながらの社名をいただいたんだね。そうそう、蔵王の山の名前も蔵王大権現社に由来してるんだ！ とってもレキシ深いお社なんだよ！

蔵王、信仰の山登り



『敬明講』 (明治 38 年・蔵王刈田嶺神社所有・蔵王町指定文化財)
蔵王の御山参りのようすをビジュアルで知ることができる、最古の資料だよ！



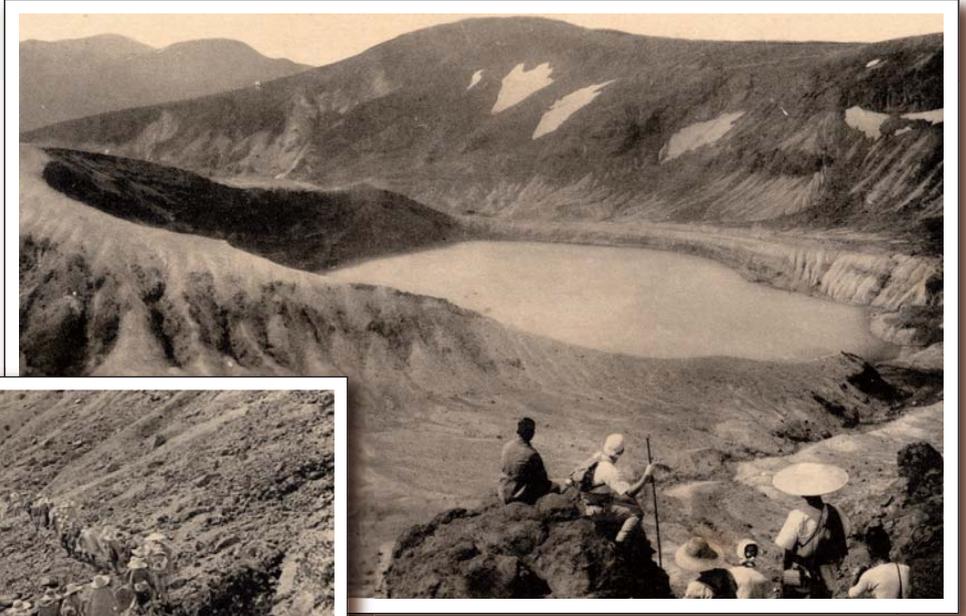
大正～昭和初期の御山参りのようす。みんな白装束で、山伏さんや神主さんの姿も見えるよ。

蔵王大権現社。このお社のおかげで蔵王は『信仰の山』として崇められてきたんだ。
イマから 1,300 年ほどムカシ、山の中ではげしい修行をして悟りを開く『修験道』
という信仰がうまれた。この地にも山伏(修験者)が入って修行の場=『御山』にした
んだ。彼らは山頂に『蔵王大権現』という神様をおまつりした。やがて、その山は神
様の名前をいただいて『蔵王山』と呼ばれるようになったんだよ。

イマから 250 年ほどムカシ、山頂の蔵王大権現社にお参りする『御山参り』がブー
ムになった。たくさんの人々が蔵王に登ったんだ。もちろん、神聖な御山に入るわけ
だから、身を清めて、白装束しろしやうそくを着て、山伏に引率されて登ったんだよ。頂上まで行け
るのは男の人だけで、女の人や子どもは途中までしか行けなかったんだって！ これ
が蔵王の山登りのはじまり。イマの蔵王のイメージとはずいぶん違うよねえ！

山岳レジャーの山、蔵王

やっほー



大正～昭和初期の蔵王登山。あっかい『レジャー登山』の服装だね！ 女の人が御釜を眺めてる写真も、これまではあり得ないことだったんだよ！

『蔵王の御山参り』は、江戸時代後期から昭和初期まで、およそ160年もの間続いたんだ！ 大ブームだったんだねえ！

明治時代になると、いろんなところにヨーロッパの文化が取り入れられるようになったんだ。当時ヨーロッパでは趣味や楽しみとしての『レジャー登山』が流行っていたから、さっそく取り入れられて全国に広まっていったんだ。それまで、日本人にとって高い山はみんな『信仰の山』だったんだけど、明治～大正の数十年間で『山岳レジャーの山』へと変わっていったんだよ。

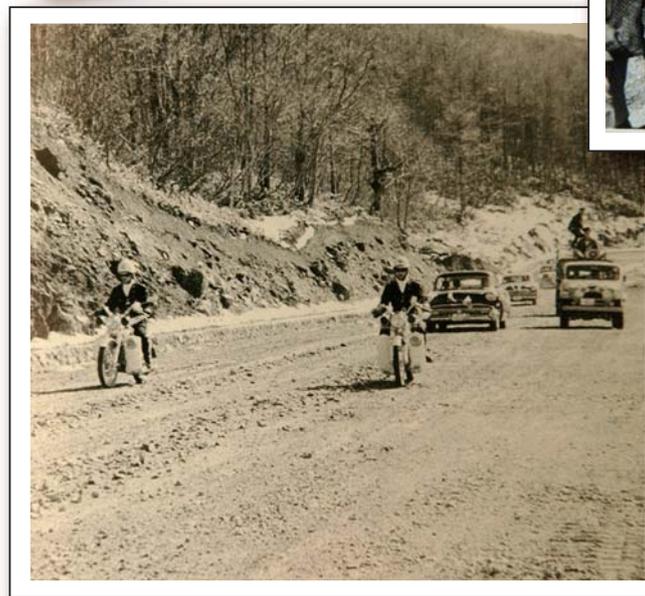
蔵王でも、イマから90年ほどムカシの大正時代になると、リュックに登山靴姿で個人で山登りする人が増えてきたんだ。それに、女の人が頂上まで行っちゃダメ！っていうことも、徐々になくなっていったんだよ。「登山は青少年の訓練に最適」として、男女問わず、学校の行事で蔵王登山をすることも多くなってきたんだ。だんだん、ボクたちと蔵王の山との付き合い方に近づいてきたね！

エコーラインと観光の山

昭和42年まではジャリ道だったんだ。



山頂にて…。標高1,800mなのに、オドロクべき軽装！



全線開通の記念パレード(537.11月)。
といっても、山中の道なので観客はゼロ…



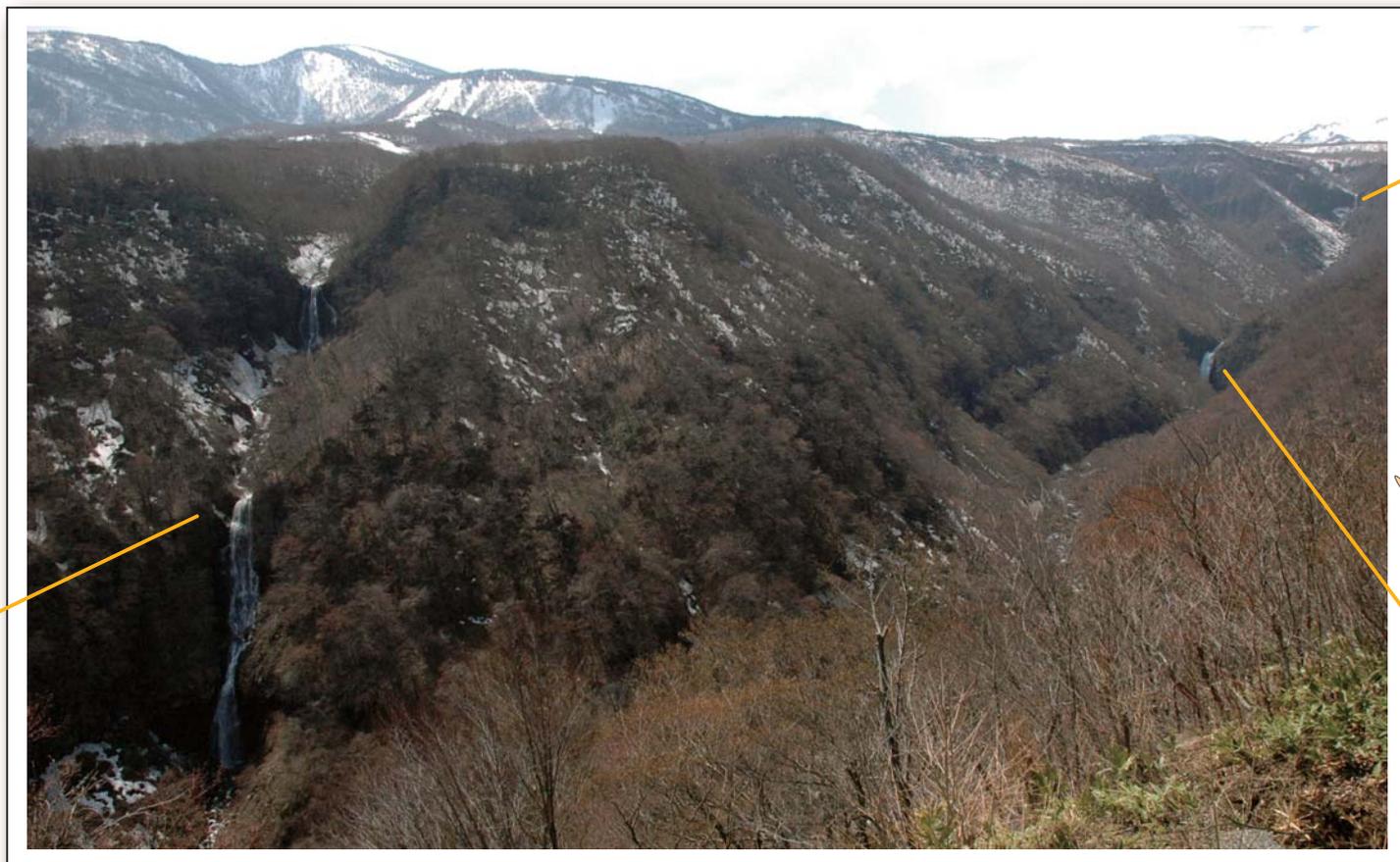
エコーライン開通とともに、蔵王観光が大ブームに！
山頂近くは、でかいーらんともマツ青なくらいの大行列！

『信仰の山』から『山岳レジャーの山』へと変わっていった蔵王。その次のステップが訪れたのは昭和37(1962)年のことだったんだ。ナニがあったかって？ それはねえ、『蔵王エコーライン』の開通だよ！

エコーラインは、蔵王の頂上近くを通過して宮城～山形を結ぶ観光道路だ。長さはおよそ26km。完成当時の正式な名前は『蔵王道路』。アジケないね…。エコーラインという愛称は、一般公募で寄せられた2,833点のうちから選ばれたんだ。

昭和39(1964)年にはマジに山頂まで行ける『蔵王ハイライン』が開通。エコーラインとハイラインのおかげで、蔵王は、登山しなくても山頂の雄大な景色を楽しめる『観光の山』になったんだ！ 標高1,800mの山頂で、スカート姿のおねーさんがニッコリ記念撮影できるなんて、よく考えたらスゴイことなんだよねえ～！

絶景スポット！滝見台



これが地蔵滝だ！

らっきー！



これが不動滝

これ、三階滝

滝見台より蔵王の三大名瀑を望む…なんちゃって！ あと数日遅ければ、新緑と残雪と滝の流れの三重奏！
だったんだけどね…ザンネン！

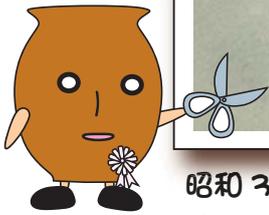
エコーラインを登っていくと『滝見台』があるんだ。ここは『不動滝』『三階滝』『地蔵滝』みっつもの滝を一度に見ることができる絶景スポットなんだよ！

不動滝は落差 53.5m。蔵王第一の滝と言われてるんだよ。名前は不動明王という
仏様からいただいたんだ。不動明王は山伏が信仰する仏様のひとつ。きっと、この
雄大な滝に不動明王の姿を感じた山伏たちが名付けたんだろうね。

三階滝は落差 181m。蔵王で一番落差のある滝だよ。名前のとおり、上から下まで
3段になってるよね。平成 2(1990)年に『日本の滝百選』に選ばれた、全国有数の
スバラシイ滝なんだ！

地蔵滝は落差 42m。名前は地蔵菩薩、お地蔵さんからいただいたんだね。地蔵菩薩は、
賽の碓で困っている子どもの魂を助けて成仏させる仏様だ。賽の碓に縁の深い
仏様なんだよ。この滝は、蔵王の『賽の碓』という場所の近くにあるんだ。そんな
位置関係から、山伏たちがこの滝に地蔵滝と名付けたんじゃないかなあ？
ところで、地蔵滝は滝見台から遠いんで、よっぽど空気が澄み切ったときでないと見え
ないんだ。もし見れたらラッキーだね！

表登山口（料金所跡地）

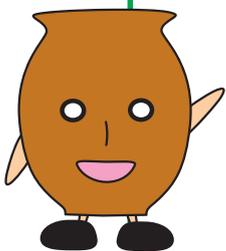


昭和 37(1962) 年 11 月のエコーライン完全開通を記念してのテープカット！
後ろに見えるとんがった施設が料金所だ。

イマはムカシのお話だけど、エコーラインはもともと有料道路だったんだ。おもてとざん『表登山口』は、エコーラインの宮城県側料金所と管理事務所があった場所なんだよ。料金所ってことは、ここが有料道路としてのエコーラインのスタート地点ってこと。エコーラインのスタート地点=蔵王に登る入り口という意味で、ここを『表登山口』って呼ぶようになったんだ。

エコーラインが無料化したのは昭和 60(1985) 年のこと。写真に見える、とんがった形の料金所も取り払われちゃったんだ。イマの『表登山口』は、エコーラインを訪れる人向けの休憩所（駐車場・トイレ）としてみんなのお役に立ってるんだよ！

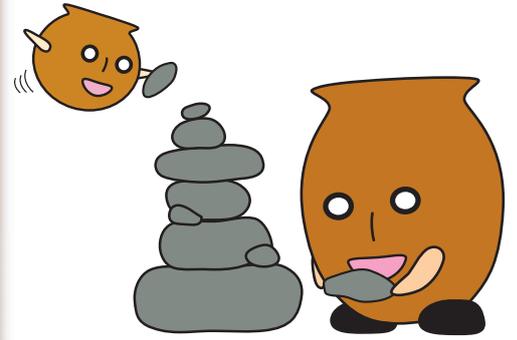
ときたん豆知識



表登山口にある『感謝の碑』には、エコーラインと自衛隊とのイガイな関わりが書かれてるんだ。エコーラインが作られた当時は、高い山での道路工事なんてはじめて。ノウハウもなかったんだ。そこで自衛隊では、山岳地帯での活動訓練を兼ねてエコーライン建設を手伝ってくれたんだ！ その活動に感謝して記念碑が建てられたんだよ！



賽の碓と三途の川



『賽の碓』。イメージ通りのネーミングだね！



御山参り全盛時の賽の碓。
フンイキ出てるね～



『浄土口 (大黒天)』の深谷。エコーライン開通当初は、ナント『蔵王キャニオン』って名前で宣伝してたんだよ！

蔵王も8合目あたりまで登ると、それまでの、木々が生い茂る生命観あふれる光景から、だんだん^{こうりょう}荒涼とした風景に変わっていくんだ。『賽の碓』は、大小の石がゴロゴロとした荒野で、所々に低い木が生えているだけの、ちょっとサビシイ雰囲気のスポートだよ。『賽の碓』を抜けると小さな沢があるんだ。名前は『三途の川』。さらにサビシさアップなネーミング…。お察しのとおり、賽の碓も三途の川も、人がなくなった時にたどり着くといわれる『あの世の入り口』から名前をいただいているんだ。まあ、草木少ない石の荒野が広がっていて、その外れに沢があるんだもん、イメージぴったりだよ。

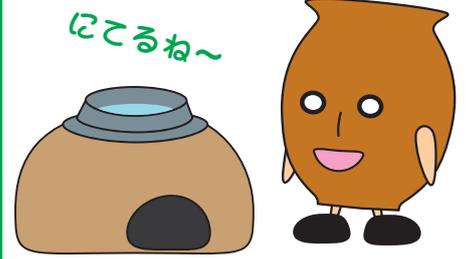
このほかにも、蔵王の山中には仏教にちなんだ地名が多いんだよ。『浄土口』『大黒天』『カナガラ仏』『姥ヶ大日』『血の池』などなど…。こうした地名は、蔵王の山で修行をしていた山伏^{やまぶし}さんたちがつけたものなんだ。きっと、蔵王にある地形と仏教の教えとを重ね合わせながら、一生けんめい修行にはげんでたんだろうね！

蔵王のシンボル『御釜』

蔵王山頂の航空写真。御釜のすぐおのくぼんだ地形は、御釜ができる前の噴火口の跡なんだって！もしかしたらイマの御釜は二代目かも



ときたん豆知識



ようすが『釜』みたいだから『御釜』。イメージ通りだね。

ふつう、御釜といえば蔵王の火口湖のことだよな？でもジツは、蔵王に限らず火山の噴火口のことを「御釜」って呼ぶことがあるんだ。つまり、蔵王の御釜は『御釜の中の御釜』！？なんかすごいね〜！

ところで、欧米では噴火口のことを『カルデラ』っていうんだ。スペイン語で『鍋・釜』って意味なんだって！世界中だれもが同じイメージを持ってるんだね！

エコーラインで一番標高の高い刈田峠^{かつた}。まっすぐ行くと山形県だ。ボクたちはここから『蔵王ハイライン』を通過して蔵王の頂上を目指そう！

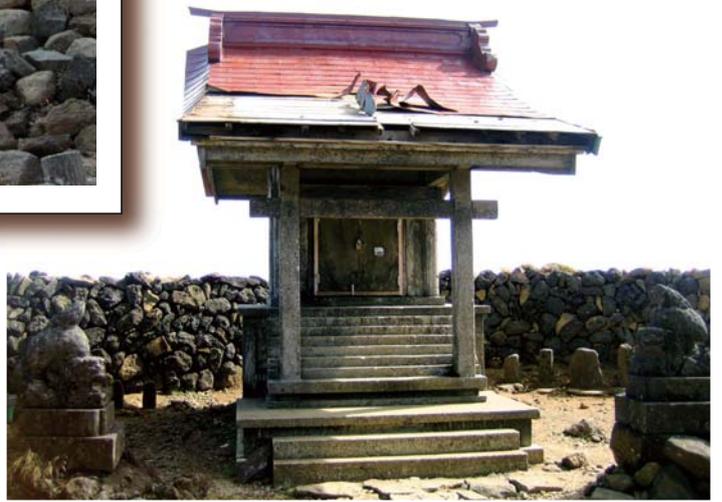
山頂駐車場から歩いて2分くらいで、蔵王のシンボル『御釜』^{あかま}に到着だ！蔵王って、はるかなムカシから噴火をくり返してきた火山なんだ。レキシ上わかっているだけでも40回以上の火山活動があったんだよ。その中で、イマから600年ほどムカシの噴火口に水がたまってできた火口湖が御釜なんだよ！おひさまの光の当たりぐあいで水の色が変わるから、五色沼とも呼ばれるんだ。展望台から見る御釜はちっちゃく感じるけど、直径325m、深さ約28m、一周りすると1kmを超えるんだ。意外とデツカイよね！御釜の水は、雨水や雪解け水がたまっただけのものなんだ。けっこう強い酸性^もなんで藻以外に生き物はいないんだって。でもね…ムカシ『御山参り』が盛んだった頃は、御釜の水は『閼伽』^{あか}とって、飲むと最高にご利益^{りやく}があるって信じられてたんだって！その気持ちはワカルけど、体には良くなさそうだよなえ…。

てっぺんに神社があるよ



刈田岳山頂にある蔵王刈田嶺神社。みんなソッポを向いてるのは、御釜を見物してるから…

熊野岳山頂にある蔵王山神社。近くは落ちてる石で作られた石垣で、厳しい風雪からお社をガード！

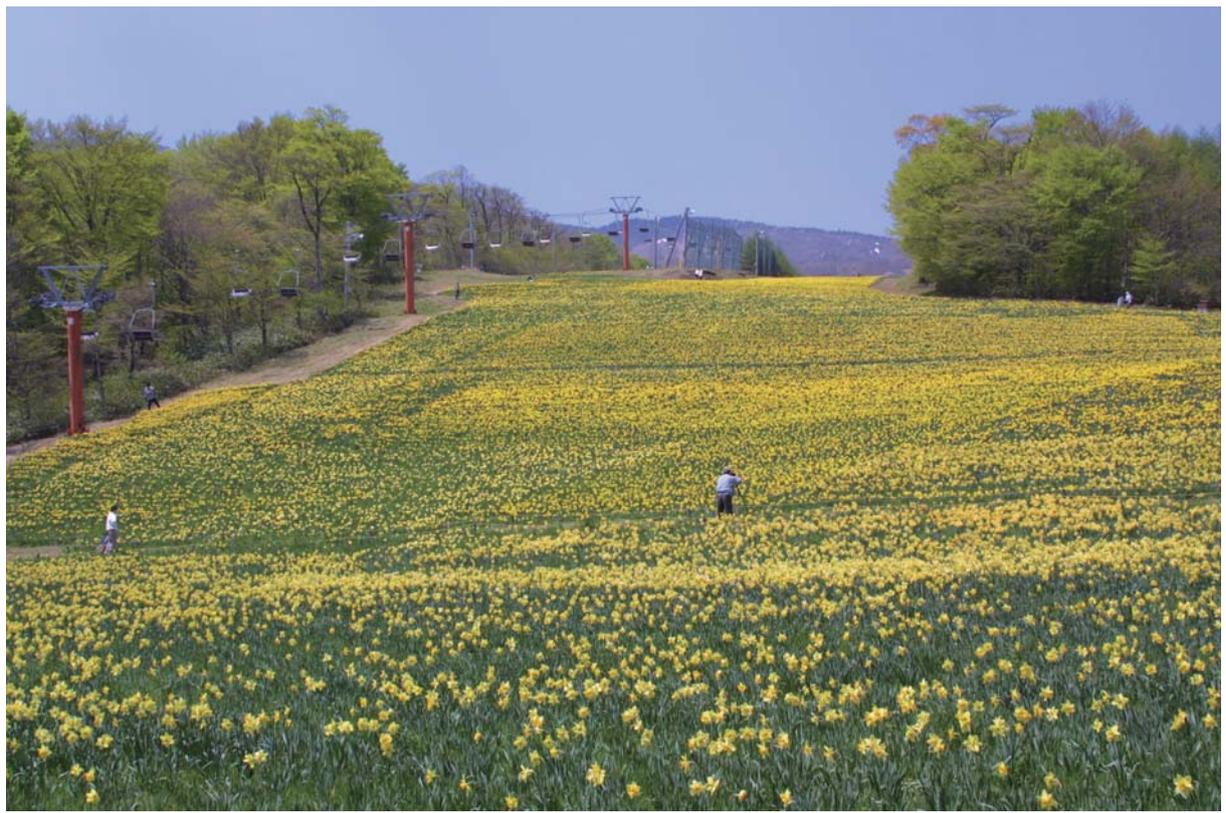


ジツは『蔵王山』って山は存在しないんだ。ボクたちが蔵王山って呼んでるのは、たくさんの峰が集まった南北 25km にも及ぶ『蔵王連峰』のこと。そのうち御釜のまわりには『五色岳』『刈田岳』『熊野岳』、それと刈田岳と熊野岳とをつなぐ尾根『馬の背』だ。チナミに標高 1,841m の熊野岳は蔵王連峰の最高峰だ！

刈田岳と熊野岳のてっぺんには、それぞれ『蔵王刈田嶺神社』『蔵王山神社』という神社があるんだ。「どうして山頂に神社が？」って、フシギでしょ？ これはね、蔵王がムカシから修験道の信仰の山だったからなんだよ。

当時、修験者（山伏）たちによって刈田岳に『蔵王大権現社』が、熊野岳に『熊野大権現社』がおまつりされたんだ。深い山で厳しい修行を重ねる山伏にとって、山頂は神仏をおまつりするのにふさわしいポイントだったんだね。その後、明治時代にそれぞれイマの名前に改められたんだよ。はるかムカシから、蔵王が神仏そのものとして崇められていたって伝えてくれる神社なんだ。

ヒトアジ違う！蔵王のスキー場



『みやぎ蔵王えぼし水仙まつり』ゲレンデ一面水仙のカーペット！ぜひ行ってみて！

蔵王にはいろんな楽しみがあるけど、冬場はスキー・スノボだね！ 蔵王には『すみかわスノーパーク』『みやぎ蔵王えぼしスキー場』2つのスキー場があるんだ。

蔵王にスキー場ができたのはイマから90年ほどムカシのこと。『清水原スキー場』『蔵王スキー場』『遠刈田スキー場』などがあつたんだ。当時のスキー場は、森林をきり開いただけのただの斜面だったんだよ。

蔵王ではじめてリフトが設けられたスキー場は、昭和34(1959)年に^{さい かわら}賽の碓近くにできた『^{くもわくだに}雲湧谷スキー場』だ。その後、近くに『^{すみかわだい}澄川台スキー場』『宮城蔵王スキー場』『^{あとみ}町営後見スキー場』ができたんだ。ちょっと乱立ギミ…。これらが元になってイマのすみかわスノーパークに発展したんだよ。すみかわスノーパークでは『^{じゅひょう}樹氷観賞ツアー』『^{おかま}冬の御釜観賞ツアー』もやっていて、ウィンタースポーツをしない人にも冬の蔵王をマンキツしてもらえるんだ！

昭和54(1979)年、^{えぼし}烏帽子岳の中腹に『みやぎ蔵王えぼしスキー場』ができたんだ。このスキー場はオフシーズンにも『えぼし水仙まつり』『トレッキング』『いも煮会』などの企画で、一年を通じたネイチャーレジャーの拠点になってるんだよ！

『すみかわ』『えぼし』両方ともスキー場としてスタートしながら、いろんな楽しみをボクたちに提供してくれてるんだね！

あ の ～ も ん あ た ～



樹氷。チリチリへあ～あたいる（笑）

なんだかオソロシゲなタイトルだけど、スノーモンスターって、^{じゅひょう}『樹氷』のことなんだ。たしかに、まっ白でモコモコしたオバケみたいに見えるね。

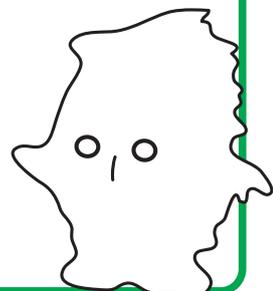
蔵王は、世界でも一二を争う樹氷の名所なんだよ！ 樹氷っていろんな気候や自然の条件が重なってはじめてできるモノなんだけど、蔵王の場合はトビキリいい条件が整ってる上に、樹氷のできるエリアがものすごく広いんだって！ たしかに、晴れてる時の写真を見ると、見渡す限り樹氷でいっぱいだもんね。

蔵王の樹氷が見てみたいっていう人？ 冬山登山はキビシイよ～（笑） スキーもできないと大変だよ～（大笑） でも大丈夫、心配しないで！ すみかわスノーパークでは『みやぎ蔵王の樹氷めぐり』ってツアーをやってるんだ！ 暖房入りの雪上車にゆられて、寒さ知らずで樹氷観賞できちゃうんだよ！

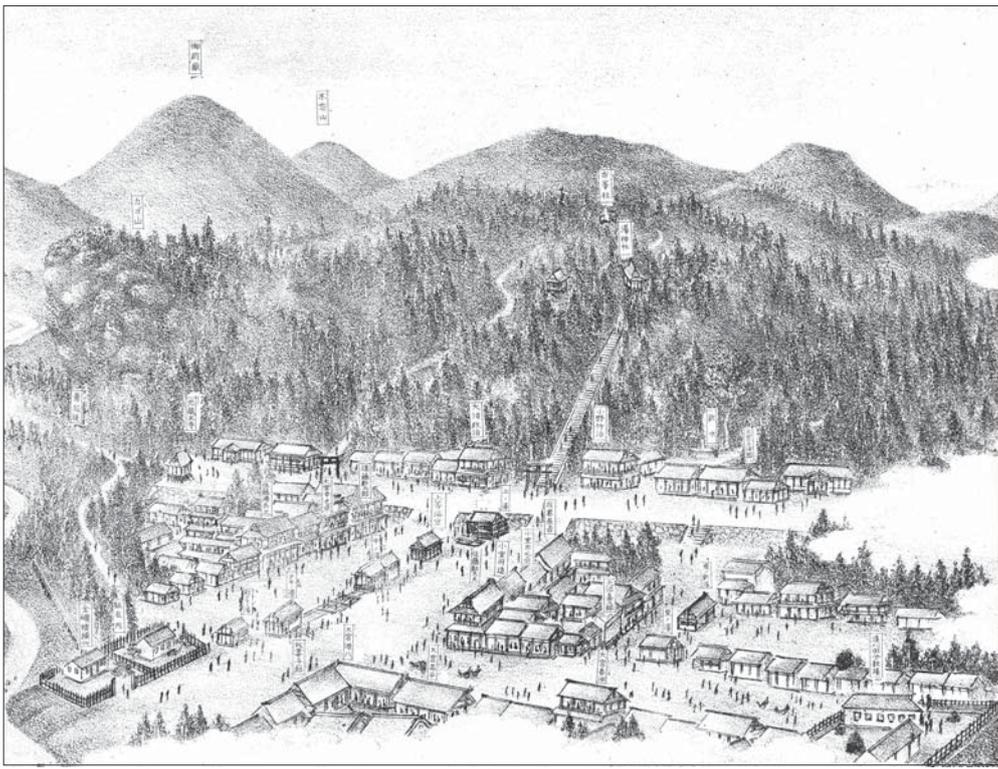
ところで、ボクが樹氷めぐりに行ったときは、ザンネンながらガスがかかってたんだ。風が吹いてガスが流れた時だけ、ほんのちょっと樹氷が見えただけだった…。まあ、山の天気だからね、しゃあないさ～。

ときたん豆知識

世界に冠たる蔵王の樹氷。なんと『樹氷』って言葉自体、蔵王で誕生したんだよ！ 名付け親は、旧制山形高校（イマの山形大学）教員、安齋徹氏。それまで『霧氷』と説明されていた蔵王山頂の樹木への着氷現象が、空気中の水分と強い季節風が合わさってできる特別な現象だと解き明かして、『樹氷』と名付けたんだ。蔵王の樹氷が世の中に知られるようになったのも、昭和5年に仙台鉄道局が安齋氏撮影の写真をPRに使ったからなんだって！



いで湯の郷、遠刈田



昭和10年ころ。イマの駐在所の辺りからの風景だよ。まん中の建物は公衆浴場。奥から『上の湯』『中の湯』『下の湯』だ。



明治時代の遠刈田温泉。この当時は公衆浴場がらつもあったんだよ！

蔵王の山を楽しんだ後は温泉でもいかが？ ^{とあがった} 遠刈田温泉はイマを去ること400年ちよい、^{けいちよう} 慶長3(1601)年の発見と言い伝えられるレキシある温泉地だ！

江戸時代には『^{かみのゆ}上湯』『^{しものゆ}下湯』『^{ひがしのゆ}東湯』3つの浴場があったんだ。イマ、遠刈田温泉には『^{ことびき}寿の湯』『^{かみ}神の湯』2つの公衆浴場があるけど、寿の湯は、20年くらい前、それまで使ってた東湯の建物を新しくしたときに改名したんだって。神の湯は、ムカシ上湯があった場所に建てることになったんで、名前の「読み」をいただいたんだって！レキシを重んじるって、すごくイイことだね！

^{とあがった} 遠刈田温泉でみんなギモンに思うのが「どうして遠刈田なの？」ってこと。ボクの聞いたトコロでは、言い伝えられてる由来は3つ。

その1…刈田郡の中でも一番遠く離れた土地だったから、^{とあがった} 遠刈田になった

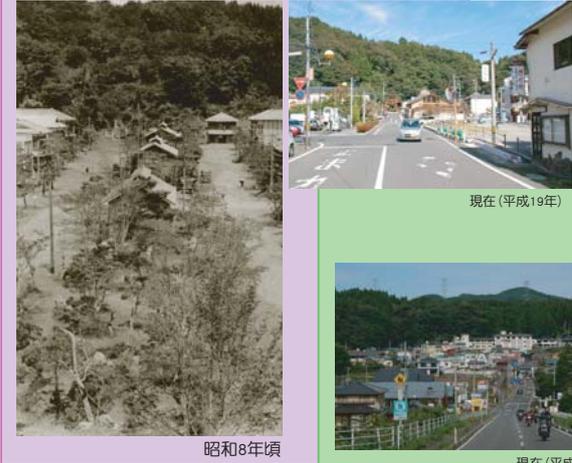
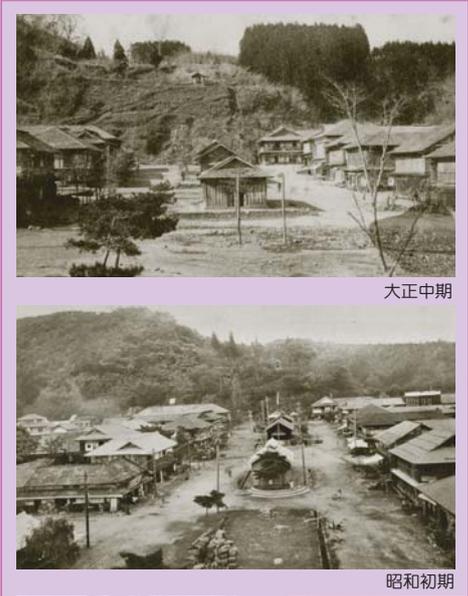
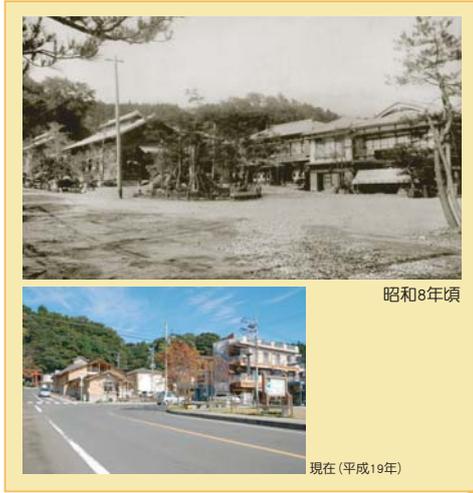
その2…刈田の地で温泉が見つかり湯刈田と呼んだが、いつしか^{とあがった} 遠刈田になった

その3…ムカシ、^{がっさん} 月山は『^{せいぐく}西嶽』、蔵王は『^{とうがく}東嶽』と呼ばれていた。東嶽に湧き出るの温泉なので^{とうがく} 東嶽温泉と呼んだが、いつしか遠刈田になった

果たして、レキシの真実はどれだろうねえ…。ムズカシイ話はこのくらいにして、はやく温泉でゆったりマッタリしようよ！

見比べてみよう！遠刈田いまむかし

ムカシの遠刈田温泉の写真と、同じ場所から撮影したイマの写真だよ。この温泉街がどんな風にならってきたのかがわかるね！



蔵王刈田嶺神社



蔵王大権現の額がかかる鳥居



立派なお社。でも、みんな気に入るのが『狛犬』。
カエルみたい…



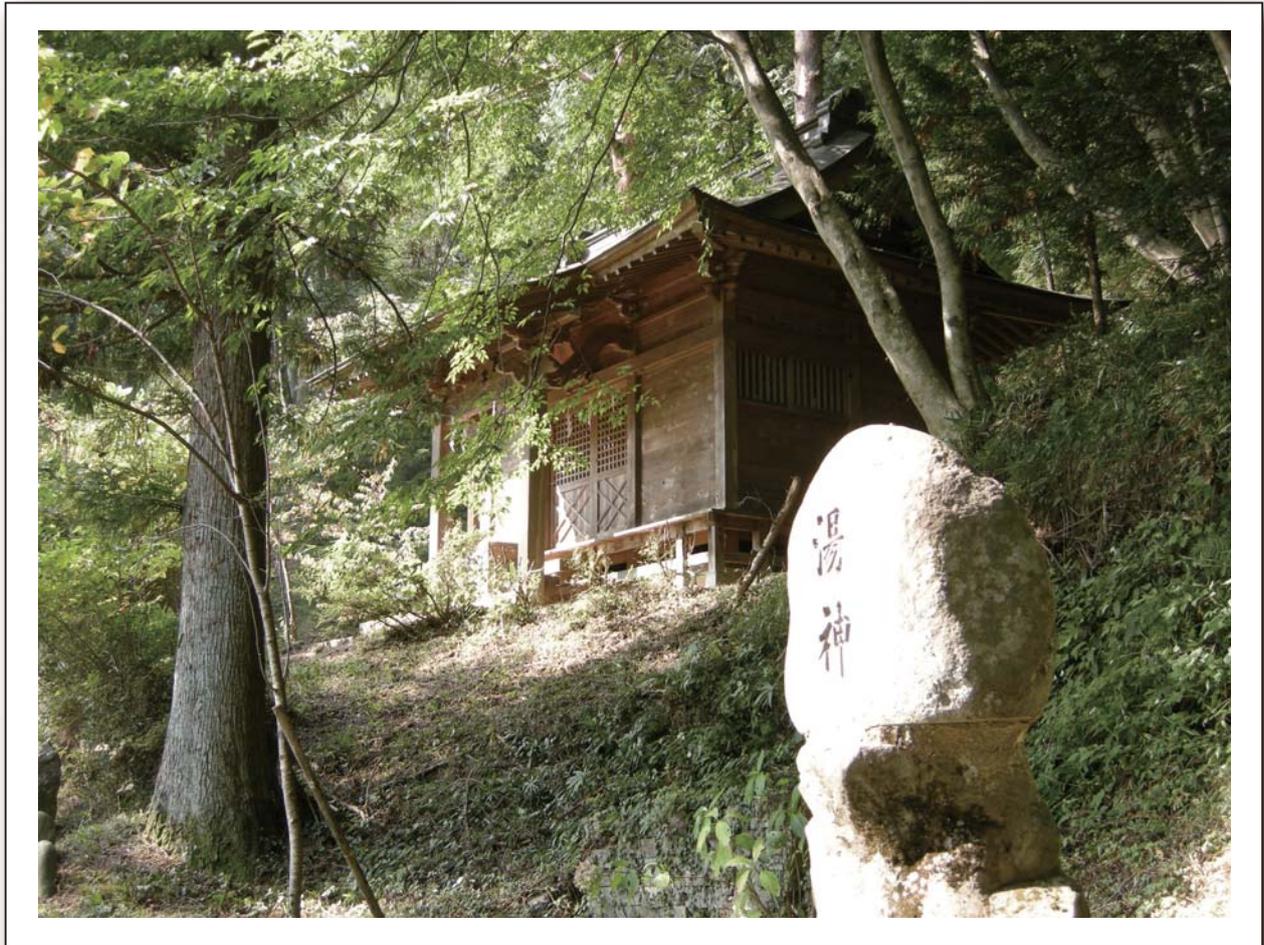
お正月。注連縄が張られて神聖なついでキ！

温泉街の奥に大きな鳥居があるね。『蔵王刈田嶺神社』だ。江戸時代までは、蔵王の御山参りを取り仕切る『蔵王寺嶽之坊』という修験道のお寺だったんだ。イマの名前に改めたのは明治時代になってから。蔵王の山で最も権威のある神社なんだ。

そうそう！ 蔵王山頂にも同じ名前の神社があったのを覚えてるかな？ ジツは蔵王刈田嶺神社では、夏場は山頂、冬場は遠刈田温泉と、季節にあわせて神様を移しておまつりしてるんだ。つまり、山頂と遠刈田温泉それぞれにお社があるけど、実際はひとつの神社ってこと。正式には、山頂にあるのが『蔵王刈田嶺神社奥宮』、遠刈田温泉にあるのが『蔵王刈田嶺神社里宮』っていうんだよ。

この神社がおまつりしてるのは『天水分神・国水分神』だ。水分というのは、水の流れ（川）が分けられるところ、いわゆる「分水嶺」「高山」のこと。高い山の神様ということだね。江戸時代までは『蔵王大権現』という修験道の神仏をおまつりしてたんだけど、明治時代になって、政府から「蔵王大権現は天水分神・国水分神という神様として崇めなさい」と指示されたんだって。ちょっとフシギな指示だよなえ…。

いで湯の守り神、湯神神社



緑の中にたたずむ湯神神社。地元では「湯神さん」って呼ばれてるんだ

遠刈田温泉のすぐ北側の丘は、『権現山』^{ごんげん}って呼ばれてるんだ。散策路が通ってるんだ。行ってみようか！

蔵王刈田嶺神社のすぐ上に『湯神神社』^{ゆがみ}があるんだ。温泉の命ともいえる『いで湯』の神様だよ。かたわらに建つ『湯神』の石碑が印象的だね。

この神社の境内は、温泉街を一望に見下ろせるスポットなんだ。遠刈田温泉の守り神をおまつりするのにもってこいの場所だよな！ ムカシはここに薬師如来をおまつりする『薬師堂』^{やくしにょらい}があったんだ。薬師如来は病気を治してくれる仏様。湯治で心身の疲れや病気をいやす温泉にピッタリだね！

でも、そんなありがたい薬師堂も明治時代になくなっちゃって、この湯神神社がおまつりされるようになったんだ。湯神神社では『少彦名神』^{すくなひこのかみ}っていう神様をおまつりしてるんだけど、この神様、温泉を使って病気を治したはじめての神様なんだよ！ これまた温泉の守り神にピッタリ！ いつまでも遠刈田温泉を見守ってくれるといいね！

火伏せの神様、

古峯神社



地元では『こははらさん』って呼ばれてるんだ。

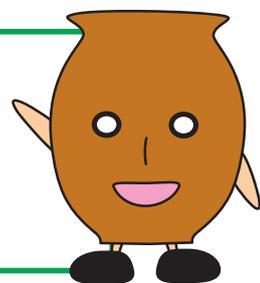
権現山ごんげんを登っていくと、またもや小さなお社発見！ 『古峯神社』こははらだ。家や集落を火事から守ってくれる、火伏せひぶせの神様だよ。

火事ってコワイよね～。ムカシの建物はで燃えやすかったし、せまい土地では建物同士の間隔もほとんど取れなかったんだ。いったん火事が起こると、集落全体が焼けちゃうような大火事になることが多かったんだ。遠刈田温泉は御山参りとうじや湯治のお客さんで年中にぎわってたし、特に湯治客じすいは自炊だったから、火の元が多かったんだ。温泉街を一望できる権現山にお社を建てて、神様にお祈りしたのも当然だよな！

残念なことに、遠刈田温泉はイマまで2回も大火事にみまわれてるんだ。明治29(1896)年には温泉街全体が、昭和7(1932)年には温泉街の7割が焼失したんだよ…。痛ましいねえ。でも、そのたびに復興してイマの温泉街があるんだ。地元の人々の努力と周りの地域の人々の支援があつてこそその復興だったんだよ。感動しちゃうよね！

ときたん豆知識

古峯神社の総本社は栃木県鹿沼市にあるんだ。遠刈田温泉の神社は、総本社から神様の力を分けてもらった分社だよ。遠刈田温泉の人たちはイマでも2年に一度本社にお参りして、御札をいただいでくるんだ。



伊達政宗の隠し金山！？

高くてびくびくる断崖「岩崎山金窟址」の指定の跡なんだよ！



金を採掘した坑道の跡。こんなカンジの穴がボツボツしてるんだ

散策路の終点は、温泉街西側の遠刈田公園。ここには、ゴツゴツとした岩肌がむきだしになった崖があるんだ。しかも、岩肌のあちこちにいろんなカタチの穴があいてるんだよ。ここは『岩崎山金窟址』。江戸時代の金鉱山の遺跡だ！

当時は、鉱脈に沿ってゲンノウとタガネで岩の中を掘り進んで行く『狸堀』って方法で金を採掘してたんだ。鉱脈の入り方次第で、人ひとりがやっと通れるほどの坑道を縦横無尽に掘っていったんだ。岩肌の穴は当時の坑道の跡なんだよ。

岩崎山の金は『慶長金』と呼ばれて、仙台藩主伊達政宗の仙台城築城やサン・ファン・パウティスタ号建造に費やされたって伝説があるんだ。シンギのホドは定かじゃないけど、夢がふくらむ言い伝えだね！

残念なことに岩崎山金山は、坑道の奥からお湯が吹き出してきて廃坑になってしまったんだ。この事故で何人もの坑夫が生き埋めになったんだって…。その後、伊達の殿様が金の仏像をおまつりして坑夫を供養したって言い伝えもあるんだ。

ところで、岩崎山の崖には『籠山』って別名があるんだ。穴だらけのようすが籠の目みたいだから、いつしかそう呼ばれるようになったんだって。ジツは、金山でなく、名所としての籠山のエピソードもいろいろあるんだ。後でお話するね！

五輪堂

～岩崎山金山伝説～

レキシ的には、戦国末期から江戸初頭に開発されたと思われる岩崎山金山。その開発にまつわるオモシロい昔話が伝わってるんだ。題して『炭焼き藤太』伝説！

…ムカシ、都に豊丸とよまるって名前のお姫様がいた。小さな頃に病気であばた顔になったけど、心の優しいお姫様だったんだ。ある晩、夢枕に神様が現れて「遠刈田の炭焼き藤太の嫁になれば幸せになれるぞ。」ってお告げがあった。姫は名前をおまんと改めて、乳母のりんと遠刈田までやって来て藤太と結婚したんだ。結婚したはいいけど、藤太は貧乏暮らし。姫が藤太に黄金おうごんを渡して「これで入り用なものを買ってきて下さい。」と言うと、藤太は「こんなもの何の役にもたたねえだろう？ 炭窯にいくらでもあるぞ。」って言うんだ。姫が炭窯をのぞくと、あらビックリ。黄金でピカピカしてたんだ！ 姫は裏手の岩崎山が金山だと知り、藤太と二人で金を掘り出して巨万の富を得て、幸せに暮らしましたとき…めでたし、めでたし！

ジツはこの昔話、岩崎山だけじゃなく各地の鉱山にも伝わってるんだ。しかも、朝鮮半島や中国にも似たようなお話が伝えられてるんだよ！ おそらく、鉱山開発のテクニックをもった人たちの間で語られてきた物語なんだろうね。

でもね。岩崎山金山の物語には、ヨソにはないオリジナルの後日談があるんだ！ …岩崎山のおかげで幸せに暮らしていたおまん姫。でも、都から連れ立ってきた乳母のりが亡くなってしまったんだ。りんは臨終のとき「姫は心根の優しい方ですが、気の毒なことに病でお顔にあばたができてしまいました。姫のような思いをする人をなくすため、私の死後、世の人々、子どもの病を治したいです。」と告げた。りんの死後、姫は五輪堂ごりんどうを建てて供養したんだ。イマでも五輪堂にお参りすると、子どもの夜泣き、吹き出物、石いぼなどが治って伝えられているんだ…めでたし、めでたし！

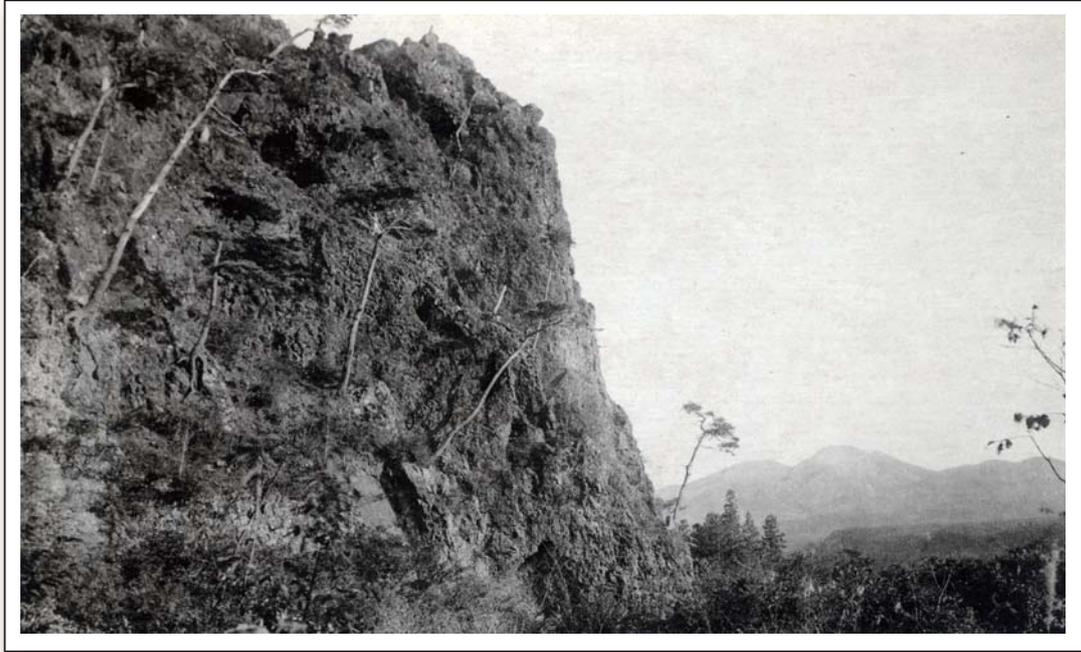
ジツは、五輪堂ごりんどうって、お堂じゃなく『宝匡印塔』ほうきやういんとうっていう供養塔なんだ。宝匡印塔とよく似た形の供養塔に『五輪塔』ごりんどうってのがあるんだけど、ムカシの遠刈田の人たちは、よく似てるから区別しないで五輪塔って呼んだんだろうね。それで、乳母の名前と供養塔（五輪塔）とを掛け合わせてオリジナルの物語を作り出したんじゃないかな？ 五輪堂は、イマでも地元の人たちから大切にまつりされてるんだよ！



五輪堂。…つゝが、文字はつかでごめん



遠刈田名所 『籠山』



大正の頃の籠山。立木が少なく、イマよりあっと荒々しいね！

岩崎山金山の遺跡の中でも、岩肌がむき出しになった断崖の一带を『籠山』と呼んでるんだ。ムカシ、金を採掘した坑道があちこちにあいてるようすが「籠の目」みたいに見えるので『籠山』と呼ばれるようになったんだよ。

籠山は、ムカシから遠刈田温泉近郊の名所として有名だったんだよ。たしかに、ゴツゴツとした断崖がそびえ立つ光景は、緑あふれる周りの景色から際立ってるもんね！ はじめて紹介されたのは江戸時代。イマから280年くらいムカシには名所として知られていたんだ。明治・大正の頃に定められた『遠刈田八景』にも選ばれてるよ。題して、『籠山の秋月』！

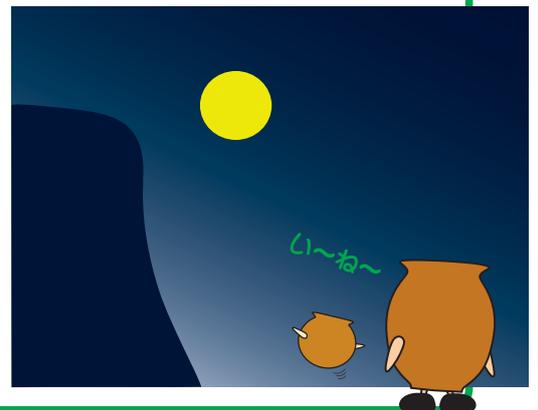
深まりゆく秋の夜、切り立つ籠山の断崖のシルエット、空に浮かぶ満月…
いいねえ～！ 月は三日月でもいいなあ… イヤイヤ、糸月も捨てがたいねえ…

ときたん豆知識

セツカクだから、『遠刈田八景』をゼンプ紹介するよ！

遠刈田八景

- 砂押の曙 …春爛漫、砂押（ゆと森倶楽部の西方）から眺める朝日
- 権現の晩鐘 …宵聞せまる温泉街に、権現山の鐘が鳴り響く
- 松川の納涼 …夏の宵、松川の河原で夕涼み
- 清水原の萩 …初秋、清水原冷水堂に咲く萩の花
- 七日原の夕時雨 …一面草が枯れた七日原。時雨にけむる蔵王の山
- 籠山の秋月 …籠山の断崖の陰影を浮かび上がらせる仲秋の名月
- 不動滝の紅葉 …秋深まる不動滝、紅葉の中を流れ落ちる大瀑布
- 不忘山の暮雪 …初冬の蔵王の雪化粧



かごやま 籠山三十三観音堂



籠山観音堂。籠山とは県道をはさんで向かい側にある

新西国霊場の石碑（右側）



かごやま
籠山の近くにある『籠山三十三観音堂』は、小さなお堂なんだけどなかなか興味深いエピソードがあるんだよ。籠山のあちこちに、小さな石碑があるのに気付いたかな？ あの石碑には三十三種の観音さまの名前が刻まれてるんだ。大正 12(1923)年、遠刈田の女性たちが『観音講』を始めたんだ。観音講は、観音さまを信仰して幸せになりましょう！っていう集まりだよ。ムカシから全国各地にいっぱいあるんだ。遠刈田の観音講では、観音さまには三十三の化身があるという教えにならって、籠山に三十三観音の石碑を建てて信仰の場にしたんだよ。

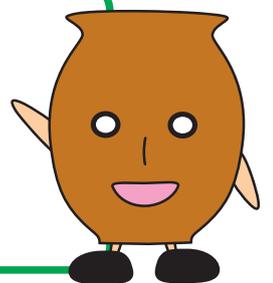
ところで、籠山観音堂には『札所二十八番籠山観音堂』ってカンバンがあるんだ。昭和 9(1934)年、刈田郡内のお寺やお堂のうち、札所に指定された三十三か所全部をめぐるとご利益が得られる『新西国霊場三十三番札所』が定められて、籠山観音堂はその二十八番目の札所に選ばれてるんだ。籠山の奥には新西国霊場の大きな石碑も建てられてるんだ。当時の人たちの信仰心が伝わってくるよね！

ときたん豆知識

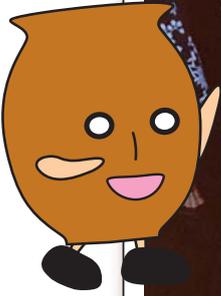
三十三ヶ所の新西国霊場それぞれに御詠歌があるんだ。籠山観音堂の御詠歌は…

湯の郷に 入り来る人を あわれみて
もらさず救う 法の籠山

…なんか、とってもありがたい気持ちになってくるよね！



遠刈田温泉盆踊い



『レキシある盆踊い』は各地にあるけど、『レキシある仮装盆踊い』は、ちょっと珍しいね

夏の風物詩、盆踊り。遠刈田温泉の盆踊りは、ちょっとしたレキシがあるんだ。

ムカシから蔵王には『御山参り』^{おやま}でたくさんの参拝者が訪れていたんだ。参拝者の宿は遠刈田温泉。夏場の御山参りシーズンになると連日大にぎわいだったんだ。ちょうどお盆の頃になると、宿まり客が宿ごとに競い合^{ねんぶつ}って念仏踊りを踊ったんだ。これが、大正の頃に盆踊りとして定着したんだよ。泊り客だけでなく、宿の者や芸者さん、一般住民もわけ隔てなく盆踊りを踊ったんだって！

遠刈田温泉の盆踊りにハズせないのが『仮装盆踊り』だ！ もともと遠刈田温泉の盆踊りは白装束^{しろしょうぞく}か浴衣で踊られていたんだけど、あるとき、ちょうど盆踊りの夜に泊っていた東京の呉服屋さんが、興が乗って歌舞伎役者の仮装をして踊ったんだ。それが面白かったんで、どんどん仮装する人が増えて仮装盆踊りが定着したんだって。最初は個人でやっていた仮装も、旅館や企業、若妻会などの団^{けんしょうきん}体で仮装するようになった。そのうち懸賞金が出るコンテスト形式の『遠刈田温泉仮装盆踊り大会』に発展したんだよ。

遠刈田温泉の盆踊りは、毎年8月中旬、お盆の時期に開催されるよ。見るもよし、踊るもよし、仮装するのもまたよし！ みんなも参加してね～！

みやがっただみね 宮刈田嶺神社 (宮地区)



本殿



絵馬



白鳥古碑群



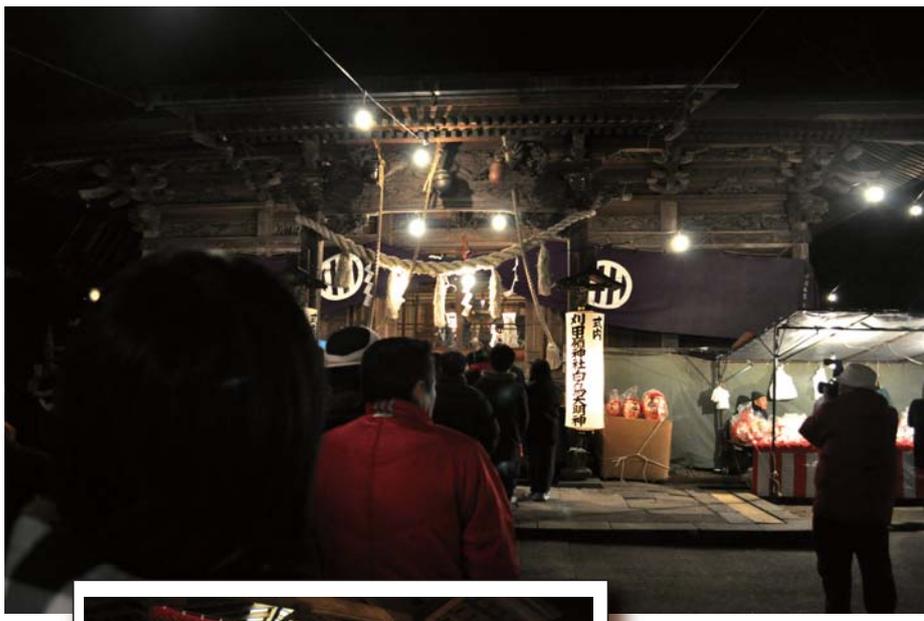
拜殿

蔵王町の南の玄関口が宮地区だ。ムカシは『奥州街道』と『羽前街道』ふたつの街道の合流点に営まれた宿場町だったんだ。イマでも、道路の配置や土地割りなどに宿場の面影が残ってるんだよ。「宮って、なんで宮なの？」って質問の答えはカンタン！ ムカシから『刈田嶺神社』があるからなんだ。

刈田嶺神社は、本来は名前の通り『刈田嶺 = 蔵王』を神様としておまつりする神社だ。『延喜式内社』っていうとっても由緒のある神社なんだよ！ その後、『刈田嶺』にかわって『日本武尊』をおまつりするようになったんだ。日本武尊は白鳥と縁が深い神様なので『白鳥大明神』という別名がつけられたんだ。この地域の人たちは、ムカシから白鳥を神様のお使いとして大切にしてきたんだよ。

この神社は『文化財の見本』みたいな神社なんだ。『本殿』は県指定文化財。『拜殿』と『隨身門』、本殿裏の白鳥のお墓『白鳥古碑群』、拜殿内に飾られている『絵馬 21 点』はいずれも町指定文化財。それに、毎年 1 月 14 日の『暁祭』で奉納される『宮刈田嶺神社神楽』は町指定無形民俗文化財。指定文化財のデパートみたい！ 見どころの多い神社なんだよ！

みやかっ た み ね あがつきまつり 宮刈田嶺神社 暁祭



参拝客の行列。お参りするまで
30分くらいかかることも…



神楽の奉納



百貫注連縄奉納

1月14日の夜に行われるお祭ってな～んだ？ どんと祭？ そうだね。でも、宮刈田嶺神社では『暁祭』っていうんだよ！

どんと祭っていうと、仙台の大崎八幡神社とかが有名だよ。お正月飾りを燃やす大たき火や裸参りが行われるんだ。暁祭でも、お正月飾りを燃やす大たき火が行われるけど、どちらかというとな脇役っぽいね。本来の暁祭は、1月14日の深夜から日付が変わって15日を迎えて、朝日が昇るまでの間に神社にお参りするお祭なんだ。暁まで行われるお祭だから、暁祭っていうんだらうね。でもイマは、1月14日の夕方から夜10時過ぎまでにお参りを済ませちゃうんだ。

このお祭では、境内の神楽殿でお神楽があげられるんだ。宮刈田嶺神社神楽は年に一回この時だけしか奉納しないから、見逃したら一年お預けだよ！ それと、30年ほど前から始まったんだけど、数え42歳の厄年の男衆が大注連縄をかついで参道を駆け上がり、御神木『夫婦杉』に締める『百貫注連縄』という行事も行われるんだ。

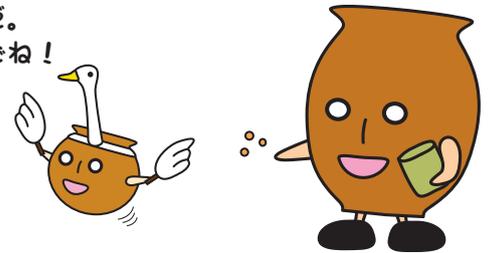
参道にはたくさんの出店も並び、仙南地方で最も賑やかなお祭のひとつだ。ぜひ、出向いてみてね！

白鳥公園（宮地区）



白鳥公園。カモの方がはるかに多い。白鳥にエサを食べてもらおうとすると、ちょっと苦労あるんだ。カモもカワイイからい〜んだけとね！

うあ汚れたように見えるのはお子さま白鳥。知ってた？



宮地区の南、白石市との境界にあたる白石川。ちょうど宮地区のあたりに大堰おおぜきがあって、流れがゆるやかになってるんだ。毎年冬になると、たくさんの白鳥が集まるんだよ。ここの川岸にある『白鳥公園』は、水ぎわまで行けて白鳥たちにエサやりができるんだ。なれてる白鳥だと手から直接エサを食べてくれたりするんだよ！白鳥だけじゃなく、いろんな種類のカモやカモメも集まるから、水鳥を観察するのもいいスポットだね。

宮地区には『白鳥愛護会』があって、昭和 58(1983)年から白鳥の餌付けを続けてるんだ。毎年 2 月には『白鳥まつり』っていうイベントも開催してたんだよ。白鳥を神様の使いとして大切にしてきた宮地区ならではの、郷土のレキシをベースにしながらイマの人たちを元気にする取り組み！ スバラシイよね！

じょうろくあみだにょらいざぞう

丈六阿弥陀如来坐像（平沢地区）



宮城県指定文化財。町内でもっとも貴重な文化財のひとつなんだよ！

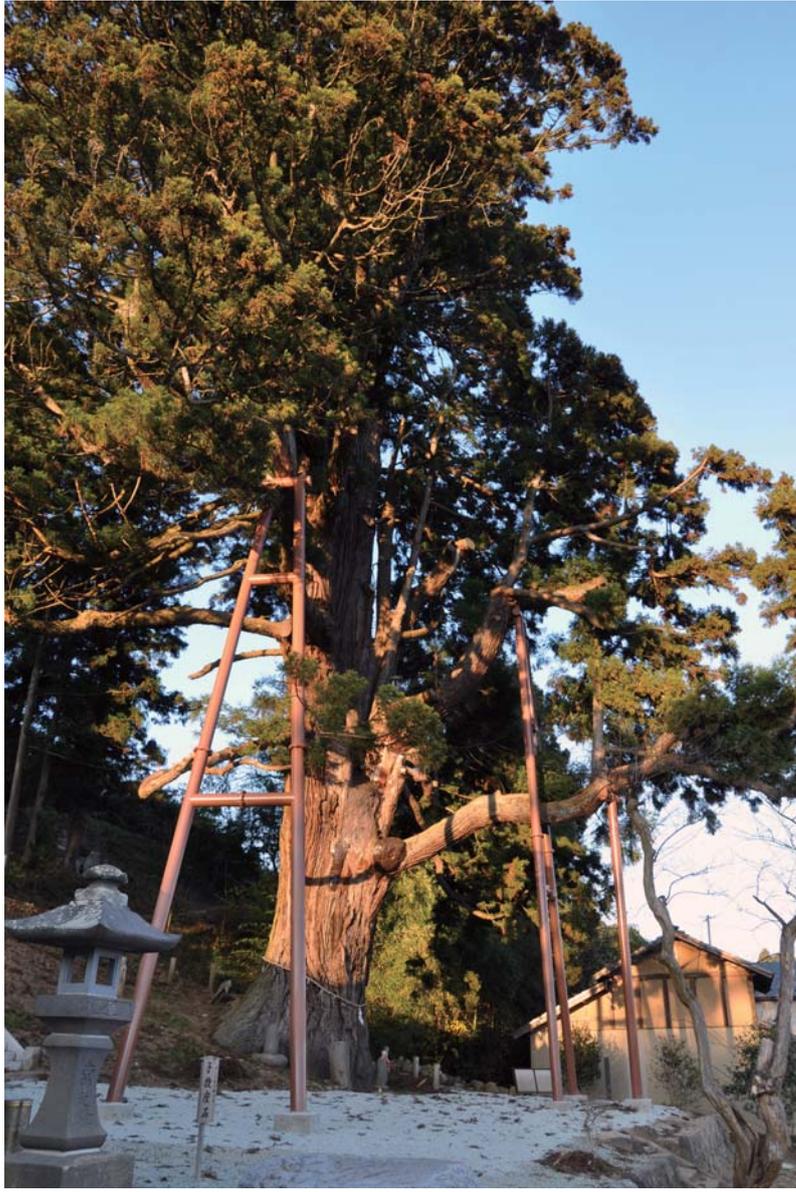
平沢地区は蔵王町の北の玄関口だ。この地区からだとも東西南北どこにでも移動しやすかったみたいで、ムカシから政治や軍事の重要ポイントだったんだ。あの有名な奥州藤原氏も、平沢の重要性を見抜いてたんだよ！ そのことを伝えてくれるのが、平沢保昌寺にある『丈六阿弥陀如来坐像』だ。丈六阿弥陀如来坐像は、高さ2.9mもある大きな仏像だ。名前の『丈六』はムカシの長さの単位で、1丈6尺=4.8mのこと。「この仏像が立ち上がったら、身長は丈六=4.8mになるよ」っていうことなんだよ。作られたのはイマから860年ほどムカシの平安時代末期。当時、東北地方一帯を治めていた奥州藤原氏が、この平沢におまつりしたんだよ。

ジツは奥州藤原氏は、自分たちにとって重要な土地に丈六の阿弥陀像をおまつりすることがあったんだ。つまり丈六阿弥陀如来坐像は、奥州藤原氏が平沢をとっても重視してたって事を伝える証拠なんだ！ 文化財って、こうして地域にとって大切なレキシを伝えてくれるんだ。すごいよね！

ときたん豆知識

仏像にとって『丈六』ってサイズはとっても重要。丈六より大きい仏像が『大仏』、それより小さい仏像が『小仏』なんだ！ つまり丈六阿弥陀如来坐像は『もっとも小形の大仏』ってことになるんだよ。大きいんだか小さいんだか、ヨクワカンナイね～。

みだ 弥陀の杉とだるま堂（平沢地区）



弥陀の杉って、大きすぎこ…。写真に撮るとちっちゃく感じちゃうんだよねー



白木に銅板葺きのだるま堂。

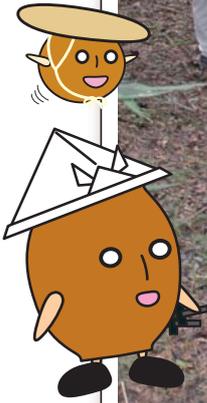
ひらさわ 平沢地区のシンボル『平沢^{みだ}弥陀の杉』は、高さ約45m、幹回り約10mの巨杉だ。樹齢はおよそ850年！ 長生きさんだね～！ この杉は、同じく平沢にある『丈六阿^{じょうろく あ}弥陀如来坐像』ととっても深い関係があるんだ。

イマから850年ほどムカシの平

安時代末期。奥州藤原氏が平沢に丈六阿弥陀如来坐像をおまつりしたんだ。お堂は平沢北部の丘に建てられて、参道には杉の木が植えられた…。時は流れて江戸時代。大きく育った500年モノの杉並木。でも、お堂はボロボロ、阿弥陀像も壊れる寸前！ 並木の杉を何本か売ったお金で修理した…。また時は流れて幕末から明治の動乱期。阿弥陀像は近くのお寺に移されて、残った杉並木も一本を残してみんな売り払われてしまった。このとき残されたのが弥陀の杉なんだ。イマでも、弥陀の杉のある土地は『丈六^{じょうろく}』っていう地名なんだよ。

イマ、地元の人たちは弥陀の杉のことを『だるま杉』って呼ぶんだ。木の下に『だるま堂』という安産祈願のお堂があるからだよ。だるま堂は、幕末に産科医・五十嵐^{いんすい}汶水が開いた『だるま講』という安産信仰のお堂だ。イマでも、毎年4月中旬にだるま講のお祭があるんだ。子ども祭も催されて、にぎやかで楽しいよ！

しほとうげ 四方峠と『道中まつい』



羽前街道道中まつい 駕籠大名行列。お待さんの甲冑は紙製の手作り。うまいね～！

『四方峠』は、羽前街道っていう古い街道の峠だよ。周囲で一番高いんで、四方どこを見ても遠くまで見渡せる。だから四方峠！ 絶景スポットを地で行く地名だねえ！ なんとなく最近の地名と思っちゃうかもしれないけど、ジツは文治5(1189)年に奥州藤原氏と鎌倉幕府軍とが合戦したときの記録に、この地名が登場してるんだ。町内トップクラスの古い地名なんだよ！

イマでは、ほとんどの道路は舗装されて道幅も広くなってるけど、ここ四方峠へと続く800mほどの峠道はムカシのままの姿が残されてるんだ。地元の人たちが歴史散策路『旧羽前街道保存地区』として管理してるんだ！ 林の中に続くつづら折りの峠道。鳥の鳴き声が聞こえ、たまにカモシカなんか飛び出してくる…いいカンジでしょ～！？ 四方峠には高見櫓も作られていて、天気の良い日は遠く太平洋まで見えちゃうんだよ！

地元では、この歴史街道を活かして楽しもうと、毎年10月に『羽前街道道中まつり』を開催してるんだよ。内容は、江戸時代の駕籠大名行列の再現や、奥州藤原氏と鎌倉幕府軍との合戦をイメージした『文治の合戦』(ジツは玉入れと綱引き)など。お買い物イベントが多い蔵王町の中で、貴重な『見せる』『体験する』タイプのイベントなんだ！ さあ！ みんなも甲冑武者になりきろう！！